

## 私と野球



昭和46年電子工学卒 田中 隆通

私のための野球、それも高校野球時代は、現在の私の礎となっていると確信している。

野球のプレーは20代前半で終わってしまったが、社会人となって44年が過ぎ、礼節、我慢する精神力などは間違いなく長工の野球部時代に培ったものである。今でも残っている思い出は、私が2年生の時に開催された1巡目の44年長崎国体の強化指定校になり、県内は元より西日本各地に遠征して、各県の強豪校と練習試合を多くしたことである。それまでの人生では県外に出ることも稀で、苦しい練習ではあったが、今となっては楽しい記憶に変わっている。また、良き指導者、先輩、同期、後輩に恵まれていて感謝している。

私は21歳の時に長崎を離れ、神戸、今治、高知、札幌、東京、広島と会社の転勤で渡り歩き、現在は家族を広島に残し東京で単身生活をおくっている。その遠く離れたところから長崎の高校野球界を見続けてきたが、我々の時代と違って全国レベルの差がなくなり、長崎県代表もしばしば甲子園で活躍する姿を見て喜んでいる。その甲子園に我が母校の長工の姿を早く見たいと祈念しているので、昨年から出席している野球部OB会の末席の役割として微力ではあるが少しでも貢献したいと思っている。

広島に居て長崎に縁がある理由で、プロ野球はカープ（今村、大瀬良）、J1はサンフレッチェ（森保監督）のファンである。

なお、私の野球部時代のニックネームの“デンスケ”は、当時の田口監督が教えてくれたトランプゲームの“デンスケ”に滅法強かったことから名づけられた。

**“ブレイクスルーで長工を甲子園に！”**

※ 田中隆通さんには東京支部長をお願いしている。

※ 現在東京計器計器カスタマーサービス株式会社取締役社長